

公開討論会／PANEL DISCUSSION

国民投票法〈憲法改正手続法〉と「メディア」を考える

衆議院で審議が重ねられている憲法改正手続法案は、「投票資格者」「投票方式」など、その内容についてほとんどの項目で与野党が合意しつつありますが、メディアに係るルールに関してはまだ固まっていません。国民の投票行動に大きな影響を及ぼすこのルール設定をどうするのか。そのことに関して私たちジャーナリストの側からの具体的な提案が未だなされておらず、提案どころか、十分な学習、議論を怠っているというのが現状です。

そこで、メディアに関わる仕事に就いている人や、この分野を専門とする学者を中心にじっくりと学び、討論する場をもちたいと考えています。そして、もしその場で具体的な案を作り得たら、日本民間放送連盟、日本新聞協会、そして憲法調査特別委員会などにその案を提出し、採用を申し入れることも考えています。

年明けの忙しい時期ですが、友人や仲間を誘ってぜひ会場に足を運んでください。どなたでも自由に参加していただけます。

第1部 [広告について]

憲法改正の発議後、テレビ又はラジオ、インターネットなどの放送通信媒体、新聞や雑誌などの活字媒体を用いた賛否を訴える広告を規制すべきか否か？

第2部 [報道・編集について]

憲法改正の発議後、テレビ番組やラジオ番組のキャスター、新聞、雑誌の記者らが、番組内、紙面上で「改憲の是非」について自らの意見を表明することを規制すべきか否か？

[パネリスト]

斎藤 駿（さいとう・すすむ／株式会社カタログハウス社長）、河野俊史（かわの・としふみ／毎日新聞東京本社編集局次長）、北村 肇（きたむら・はじめ／『週刊金曜日』編集長）、住友達也（すみとも・たつや／元「吉野川第十堰住民投票の会」代表世話人）、碓氷和哉（うすい・かずや／日本民間放送労働組合連合会 中央執行委員長）、山口栄一（やまぐち・えいいち／フリーランスの番組ディレクター）、坂井克行（さかい・かつゆき／毎日放送ラジオ制作部プロデューサー）

[コーディネーター]

今井 一（いまい・はじめ／ジャーナリスト。[国民投票／住民投票] 情報室 事務局長）

と き: 1月 21 日 (日) 午後1時～5時

会 場: カタログハウス (本社ビル地下1階 セミナーホール)

JR 新宿駅南口より徒歩8分、都営新宿線、大江戸線新宿駅より徒歩5分。

JR 新宿駅南口の改札口を出てすぐの甲州街道を西に進んで3つめの信号を左折。

道なりに150mほど歩いた左側にあります。「劇団ブーク」の隣です。

参加費 (資料代込み)

前売り券: 1000 円 (当日券: 一般 1500 円 学生 1000 円)

[注] ・前売り券の申し込みは、1月15日までに[国民投票／住民投票] 情報室へ。

・椅子席は130、来場者がそれを超すと立ち見となります。

・午後12時40分に開場しますのでお早めにお越し下さい。

・取材目的の方を含め、どなたに対しても例外なく参加費を徴収します。

〈主催〉

1.21 公開討論会実行委員会

(田島泰彦上智大学教授ら7人で構成)

〈協賛／問合せ先〉

[国民投票／住民投票] 情報室

TEL/FAX 06-6751-7345

URL: <http://ref-info.net>